

令和3年度（補正予算）

関係人口創出・拡大のための対流促進事業 （中間支援組織の提案型モデル事業）

事業の実施結果 （概要）

団体名	株式会社 巻組
事業名	Creative Hub3.0 : DAO(自律分散型組織)の形成を通じたクリエイティブな関係人口創出

- クリエイティブな活動を行う多世代の人々を人口減少地域の地域資源とつなげ、地域活動の促進や多世代交流による地域のwell-beingの向上につなげた。
- クリエイターのオンラインコミュニティをDAO形式で運用し、会員へのガバナンス権・発言権の付与や創作作品のNFT化、NFTの資本性確保などにより、「かかわりしろ」の拡大や継続的な関わりを創出した。

主な活動内容

1. 関係人口プラットフォームの構築 会員：80名

対象地：宮城県石巻市、加美町 / 島根県雲南市 / 和歌山県紀の川市 / 他首都圏協力拠点2ヶ所

- 1) Creative HubのコミュニティをDAO (自律分散型組織)化
- 2) 会員にトークン(クーポン)を発行
- 3) 会員から地域における制作アイデアを募る
- 4) 成果を地方・首都圏において展示・発表(グループ展)

2. 会員活動の発信イベントの実施

- ① 10/7-9@首都圏：グループ展実施 来場：来場 90名
- ② 11/19-20@首都圏：グループ展実施：来場 200名以上
- ③ 12/10@首都圏：グループ展実施：来場 60名
- ④ 1/24@雲南市：地域との交流イベント：来場 20名
- ⑤ 2/18@紀の川市：地域との交流／グループ展：来場60名



すみだ向島Expo (出展クリエイター)



島根県雲南市 (生前贈与物件に住むクリエイターと住民の交流)

主な成果

1. 参加者や地域の声

- アメリカから地域を訪れた参加者)活用できる資源と地域の歴史や文化にインスパイアされた。
- 地域住民)この集落に移り住む人はいなかった。立ち寄る場所ができたし、協力できることがあって嬉しい。
- 行政職員)地域内のクリエイティブ人材の発掘につながると同時に、地域外の人材との交流を通じてまちづくりに関する新たな着想を得るきっかけになった。

2. 事業を通じて得られた気づきや知見

- 能動的に地域やコミュニティ運営に関わっていく重要なファクト(ポジティブインパクト)
 - ① 能動的に動いたことに対して評価されること(モチベーション)
 - ② 価値観を共有する仲間が地域を超えて生まれる(グループ)
 - ③ 大小様々なアイデアがスピーディに実現される。またオンラインを通じて反応する仲間がいること
- オンラインの関係人口を、リアルな地域の現場につなげる意義。

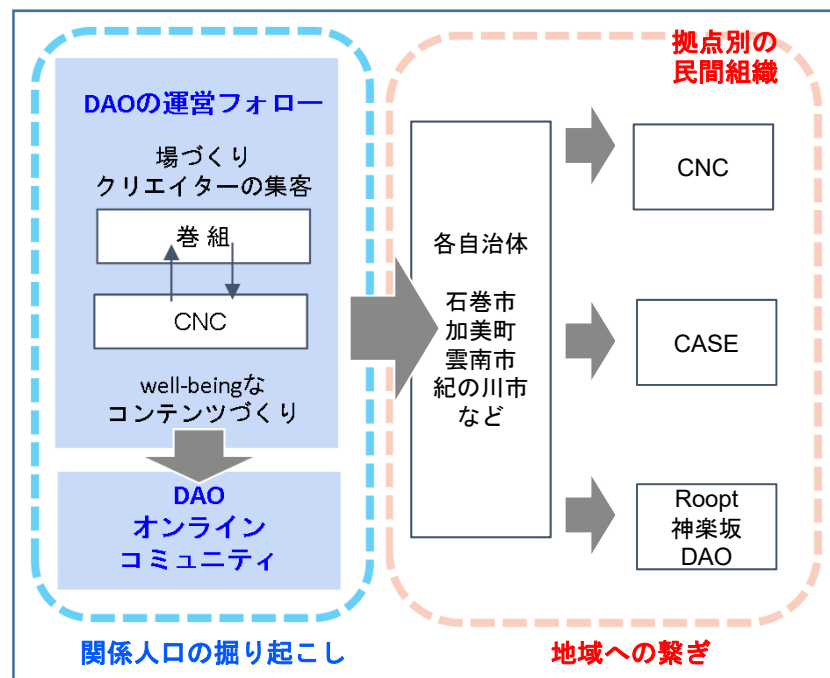


和歌山県紀の川市 (展示会場にてクリエイターと住民の交流)



島根県雲南市 (地域と古民家の歴史や運用について語り合う住民と関係者)

事業実施体制・関係機関



団体名	役割
株式会社巻組	全体運営
Community Nurse Company 株式会社	雲南市運営事務局 / 事業インパクト計測
連携自治体（宮城県石巻市 / 宮城県加美町 / 島根県雲南市 / 和歌山県紀の川市）	地域側でのPR、地域内でのコーディネート機関
株式会社CASE	地域側での拠点運営 参加者のコーディネート
Roopt神楽坂DAO	首都圏協力拠点
BE AT STUDIO HARAJUKU	首都圏協力拠点

デジタルに関する取組状況

ブロックチェーン技術を活用したオンラインのコミュニティの仕組みを導入した。

実績：80名がオンラインコミュニティに入り、そのうち約30名がトークンを購入し、会員として制作活動を行なった。

工夫した点：オンラインのみでなくリアルな場を設けることで交流を促進した。また、運営に貢献した参加者は報酬トークンを得ることができるようにした。

良かった点：企画が同時多発的かつ能動的にメンバーから生まれ、気軽に企画会議などが実施された。コミュニティ運営にもメンバーがコミットした。

課題：オンラインのみの参加者は交流の密度が低く、具体的なアクションにつながりづかった。



次年度以降の事業展開

[関係人口となった方々や地域で生まれたアイデア]

① クリエイティブ系上場企業との協業 (通年)

→関係人口となったクリエイターの企業への紹介
企業に向けたプレゼンテーション大会の実施
社員のグループ展への参加

内容：Creative Hub DAO参加クリエイターを企業の登録クリエイターとして起用し、商品企画 / デザインのプレゼンテーション大会で採用された企画を商品化する試み。

② 拠点地域におけるプロジェクトのアウトプット

- ・ 島根県雲南市におけるDIYプロジェクトの実施 (R5年4月以降)
 - ・ 和歌山県紀の川市での未利用資源(竹藪など)の活用プロジェクト(R5年4月以降)
 - ・ 宮城県石巻市へクリエイターのツアー(R5年3月実地)
 - ・ 宮城県加美町でのクリエイター向け滞在プログラム (R5年6月以降)
- など、地域の地場産業を盛り上げるプロジェクトを実施する

③ Web3で実現したモチベーションコントロールの手法の実装 (仮称) おせっかいコイン (通年)

- ・ NFTによるリワード付与(能動的に行動したことに対する評価)をオフラインで実装する仕組みの導入
ex) スマートフォンを活用したポイント付与やコミュニティ通貨など

期待される効果

- ・ 対象地域で活動するクリエイターの作品が大企業の目に触れ、商品化のチャンスが生まれることで、地域におけるクリエイターの活動チャンスが広がる。
- ・ 大企業の目に触れる機会が増えることで、首都圏在中のクリエイターもコミュニティ参加に興味をもち、結果、地域との関係人口の増加につながる。

自立・自走化にあたっての課題

デジタル分野における課題

- ・ ブロックチェーンの利点である、スマートコントラクトによる参加者評価をオフライン世界で実装する仕組みの検討が必要。
→上記③おせっかいコインの実装
- ・ トークン保有者を増加させ、マネタイズしていく際に、地域のプレイヤーがまだトークンの売買や譲渡に慣れておらず資金調達の機会損失がある。

自走にあたっての課題

- ・ トークンに紐づく参加費によってグループ展等のイベント経費はある程度賄えるが、継続して実施したいプロジェクトや事業アイデアが誕生し大きな資金需要が発生した際には、別途の資金調達が必要。